

2013 年 6 月 吉日

お客様各位

株式会社エイ・アイ・エス
代表取締役 大浦 博

～ 海運ソリューション導入事例セミナーのご案内 ～

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、昨今の円安ドル高が進行する中、日本国内経済は、輸出の増加による期待により景気回復の兆しが見え始めたところではございますが、海運業界においては、運賃・傭船市況は低迷が続いている厳しい経済状況にあり、海運業の皆様におかれましては、日々、生産性の向上ひいては国際競争力の強化に御尽力の事とご推察いたします。そうしたグローバルなマーケットで競争している海運業では、外部環境への対応は勿論のこと、限られたリソースの中で、いかに業務処理能力を高め、競争力のある価格設定や、貨物取扱量の増大、顧客サービスの向上を実現するかが重要と存じます。

エイ・アイ・エスでは、シンガポールに事務所を設立以来 2 年半が経過し、微力ながら、シンガポールに進出されている海運業の皆様、システム導入支援や運用保守などシステム面からサポートさせて頂いております。

そこで、この度、弊社のシンガポールにおける導入ユーザーの中でシステム化による生産性の向上に成功した事例を御紹介させて頂く「海運ソリューション導入事例セミナー」を企画させていただきましたので、ご案内を申し上げます。

当セミナーでは、三菱商事グループの Diamond Bulk Carrier 社様に御協力を頂き、VESON 社の運航管理システム「IMOS」と弊社の海運業会計システム「TRANS-Account」を連携して運用されている事例を御紹介させていただきます。

弊社の会計システム「TRANS-Account」は日本船主協会加盟会社の約 20%のお客様に御利用頂いており、海運会社に特有な機能があらかじめ装備された海運業会計システムです。一方、VESON 社の運航管理システム「IMOS」は、世界有数の海運会社に導入実績と持ち、運航採算の見積りからの段階から契約・航海進捗ごとの運航実績・精算までを統合的に管理できるシステムです。また、「IMOS」で処理された運賃・運航費、貸借船料などの情報は、会計システム「TRANS-Account」に自動的にインターフェースされ、出納処理までスムーズに連携する事が可能で、航海収支の決算処理も自動化されております。

当日の第 1 部、第 2 部では、実際のシステムをご覧いただきながら、両システムの連携を含めた特徴的な機能についてご説明させて頂き、また、ユーザーの生の声として、Diamond Bulk Carrier 社のプロジェクト御担当者様に語って頂く御時間も頂戴する予定です。第 3 部では、海運会社を専門とする青山総合会計事務所の長縄所長より「シンガポール税制改正のポイント」など日系の海運会社の皆様が抱えられておられるシンガポールにおける税務問題や最新事情を御講演いただきます。

「IMOS」と「TRANS-Account」の連携システムは、貴社の業務プロセスの改善し、業務処理能力の向上、国際競争力の強化に、必ずや貢献するシステムと自負しておりますので、是非この機会に御覧いただければと存じます。

なお、セミナー後には小宴もご用意しておりますので、御参加者の懇親を深められる場とさせていただけると幸甚でございます。ご多忙の事と存じますが、万障お繰り合わせのうえ、御参加頂きたくお願い申し上げます。

敬具